

20年後、30年後を生きる子どもたち

正解のない世の中を生き抜く力
協働して作り出す力 ⇔ AI
持続可能な社会を生み出す力

地域・保護者の願い

ふるさとに根っこをもつ子ども
基礎学力の定着・活力ある姿
人間力、生活力を大切にする学校

本校のめざす
学校像

わくわく

にこにこ

きらきら

教育目標

いきいき学ぶ みんな輝く 未来へ進む 東栄小

校訓「ちえ輝く子、やさしさ輝く子、げんき輝く子」の育成に向けた教育を行う。

令和4年度めざす子どもの姿

ともに成し遂げた経験を持ち、考え、伝え合い、行動する子ども

学級における具体的な子どもの姿

見通しを持ち、
自分で考えて行動できる

ふるさとに
根っこをもつ

自分の意見を持ち、
話を聞くことができる

高学年として
お手本となれる

級訓

cool

・格好いい ・冷静
・任されても平気

指導・支援の内容

○学習の中で

・単元マップを用いることで、授業の見通しを持ち、課題を自分事として捉えられるようにする。
・自主学習において、苦手をつぶしたり、発展的な内容を決めたりして、自ら追求していく習慣を身につける。
・漢字ドリルを順番に進めるのではなく、知っている漢字から進めることで、意欲を高める。

○生活では

・月ごとの行事一覧表を掲示し、練習計画や進め方を考える中で、見通しをもって取り組めるようにする。

○木の駅プロジェクト

・昨年度から継続して、東栄の自然のすばらしさを感じられるようにする。

○志多ら

・地域に根を張ることで生まれた音楽を表現することで、伝統を受け継いでいく。

○臨海学習

・地域の自然環境と研修地の自然環境を比較しながら活動することで、ふるさと東栄、そして愛知県よさを感じられるようにする。

○授業の中で

・自分の考えや意見をもつ時間を設定する。
・話し合いや、交流の場を多く設ける。

・友達の考えを聞くことで、自分の考えが広がった経験を積む。

○交流の手立てとして

・「うなづいて、目を見て、ラストまで、一生懸命、スマイルで」の聞き方を徹底する。
・話が一方通行にならないように、司会や書記、発表者など役を決めて、交流させる。

○生活の中で

「あいさつを大きな声で自分からする」
「ろうかを走らない」
「うそをつかない」
「時間や約束を守る」
「ありがとう、ごめんなさいを言う」
「誰かがすればよい仕事は自分でする」
・上記のことが当たり前前にできるように、級訓を設定し、常に意識できるようにする。
・できていたら、その場ですぐ声かけをする。
・ルールを基に、友達同士でも褒め合えるようにする。